

Design Graduation Works
2011

Interface
Graphic
Product
Interior
Craft

DESIGN GRADUATION WORKS

Interface

Graphic

Interior

Craft

Product

会津大学短期大学部産業情報学科デザイン情報コース

2011 卒業作品集
Calendar 2011.4-2011.3

ごあいさつ

この「作品集」は、「卒業研究ゼミ発表会」、「卒業研究ゼミ要旨集」、「卒業展」と、様々な機会を通して広く公表し多くの方々からご批判を仰いできました、卒業研究ゼミの成果を示す最後のものです。「作品集」の発行も今年度で7回目を迎えました。身近な存在となるよう採用しましたカレンダー形式の編集によるものも4回目ですっかり定着した感があります。

産業情報学科では、「卒業研究ゼミ」を必修科目として位置付け、1年次の後半からプレゼミとして実施し、2年次より具体的なテーマを設定し、問題解決能力や創造性の研鑽に取り組んでまいりました。その内容はWebデザイン、グラフィックデザイン、漆工芸作品、空き店舗活用、製品デザインと様々ですが、いずれも地道な研究を裏づけとした力作です。今年もここ数年の傾向に準じて福島県立博物館主催の「会津・漆の芸術祭」に協力した「会津・漆の芸術祭記録サイトの政策」をはじめ「南会津町商店街の空き店舗活用計画」、「地産地消パンフレットの制作とPR」、「地域特産品の高付加価値化のためのパッケージデザイン」、「NOKISAKI PROJECT 大町通りの軒先調査とその活性化提案」、「会津における産業近代化建築物の調査研究」、「漆の食卓 会津伝統技法による提案」など地域に密着したテーマや、「子どもの力を育てる野菜の栽培キット及びWebによる情報発信」、「安全なおもちゃの提案」など社会的課題をテーマとしたものが多くございます。

学生諸君にとっては、学生時代の創作への熱意と活力に満ちた日々の証として、知性と感性を傾け、創造への情熱を持って過ごしたときとして、喜びに満ち、時には苦しみもした、或いは挫折感を味わったときでもあります。そうした中から創造された作品たちは、ある意味、ときの記憶でもあり、良き思い出のアルバムになるものと期待しております。

卒業する学生諸君には、この「卒業研究ゼミ」で経験したプロセスと反省を通じて、創造することへの喜び、諸問題に取り組んだ挑戦するエネルギー、充実したときを過ごして得た達成感などを思い出しながら、今後の社会生活の中で果敢に展開し、更なる飛躍に繋げてほしいと願っています。

最後に、卒業研究および卒業制作にご支援、ご協力をいただきました学内外の関係者の方々に深く感謝するとともに厚く御礼を申し上げます。また、この作品集は広く学外にも配布して、諸賢の御高覧に供しています。皆様の忌憚のないご意見、ご批判を賜れば幸いに存じます。

平成 23 年 3 月

会津大学短期大学部産業情報学科
学科長 時野谷 茂



4 April

会津・漆の芸術祭記録サイトの制作

31人×17プロジェクト



5 May

会津大学短期大学部
受験生向けウェブサイトの制作



6 June

地産地消パンフレットの制作とPR



7 July

地域特産品の高付加価値化
のためのパッケージデザイン



8 August

南会津町商店街の
空き店舗活用計画



9 September

Aizu view point survey
～会津若松市の視点場発見
と景観特性に関する研究～



9 September

アート玩具の研究と提案



10 October

「会津における産業近代建築物の調査研究」
-原山織物工場を事例として-



11 November

NOKISAKI PROJECT
-大町通りの軒先研究と
その活性化提案-



11 November

漆を纏う
dress up with the URUSHI



12 December

触れる漆
-"漆"を若い世代に広める-



12 December

美しき昆虫世界



1 January

層
重ねて魅せる癒しの風景



1 January

共存
-デジタルとアナログ-



2 February

漆の食卓
～会津伝統技法による提案～



2 February

安全なおもちゃの提案



3 March

子供の力を育てる野菜の栽培キット
及びWebによる情報発信



1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15



16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29 昭和の日

30

2010年秋、全国初の「漆」をテーマとした「会津・漆の芸術祭」が開催された。そこで私たちは、芸術祭を通して会津の漆について学び、そして今まで短期大学で学んできたことを生かしてわかりやすいコンテンツを制作することを目的とした「会津・漆の芸術祭アーカイブス」を制作した。この芸術祭は、これまで培ってきた会津の漆文化や漆のこれからの可能性を考えるためのよい機会になると期待されている。私たちのサイトも、そのきっかけになれば幸いである。

会津・漆の芸術祭記録サイトの制作

Production of "aizu urushi art festival archlver"

大八木 美穂
Oyagi Miho

田中 夏紀
Tanaka Natsuki

橋本 麻美
Hashimoto Mami

戸巻 明日花
Tomaki Asuka

深谷 貴史
Fukaya Takashi

ホームページ・写真・動画・Flash



Interface Graduation Works 2011

5

MAY.



1

2

3 憲法記念日

4 みどりの日

5 こどもの日

6 入学式

7

8 母の日

9 前期授業開始

10

11

12

13

14

15

本学に更なる興味・関心を持ってもらえるようなデザインで、必要な情報が見やすいサイトを目指して制作した。その為、高校生を対象にアンケート調査を行い、人気のある他の短期大学のサイトの調査をしながらデザインの方向性を決定した。各学科の紹介ページやコンテンツの色は規定のテーマカラーに沿って制作し、学科別に違った印象を持つ本学の特徴を表現した。また、本学の学科について深く理解して貰うことを目的として、在学中どんなイベントがあるのかを学科別に紹介するFlashコンテンツを作成した。



フラッシュ



会津大学短期大学部・受験生向けウェブサイトの制作

Proposal of Aizu junior college's website for examinee

三瓶 明子
Sanpei Akiko

ホームページ・Flash



16

17

18

19 前期履修登録

20 前期履修登録

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

Graphic Graduation Works 2011

6

JUN.



1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15



地元で生産されたものを地元で消費する「地産地消」運動。この運動の推進を図るためのパンフレットを作成した。「旬の野菜」をテーマに、生産者とその野菜を使って料理を提供している飲食店の関係を取り上げ、生産者の思いや、地元産にこだわっている飲食店の思いを知ること地産地消の欠点、利点を明らかにしている。地産地消にこだわっている人たちの思いや背景を知ること読者に地産地消のメリットを分かり易く伝えている。また、それを効果的にPRする各種コンテンツを制作した。

地産地消推進パンフレットの制作とPR

Local production for local consumption pamphlet and PR contents

川瀬 理子
Kawase Riko

吉田 友香
Yoshida Yuuka

星 望
Hoshi Nozomi

パンフレット 148mm×210mm/ポスター 594mm×841mm/DM 148mm×100mm



16

17

18

19 父の日

20

21

22

23

24

25

26

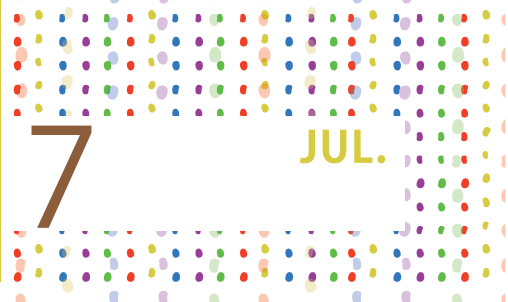
27

28

29

30

Graphic Graduation Works 2011



1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15



アンケート調査



16

17

18 海の日

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

南会津のイメージ向上のため、南会津の農産物を使用した新商品の開発と既存商品のリデザイン、南会津のパッケージデザインを作成した。

若者向け、和風、会津らしさというキーワード及びアンケート調査の結果から、コンセプトを「素朴でシンプルな和風のデザイン」と設定。和風で素朴なデザインにすることで、南会津の懐かしさや温かさを演出した。このパッケージデザインを通して少しでも南会津の良さや魅力を感じてほしい。

地域特産品の高付加価値化のためのパッケージデザイン

package design of minamiaizu for value added

大河内 愛子
Okouchi Aiko

酒井 知里
Sakai Chisato

渡邊 真純
Watanabe Masumi

小林 フェルナンダ
Kobayashi Ferunanda

和紙・ボール紙・麻紐・ビニール袋



Interior Graduation Works 2011

8

AUG.



1

2

3

4

5

6

7 オープンキャンパス

8

9

10

11

12

13

14

15



16

17

18

19

20

21

22

23 前期定期試験(23~29)

24

25

26

27

28

29

30 夏季休業(30~9/29)

31

私たちは町の宝の再発見と町中の再認識、またこれらを発信することで田島の商店街の交流促進や回遊性に繋がるきっかけをつくるのが可能と考え、耳より情報収集を実施した。そしてそれを発信する「たじまっぷ」を制作した。情報発信地に要点を記載したフラッグを立てると共に、インデックスを附記した詳細カードを作成し、フラッグと共通番号及び情報のジャンルで検索できるようになっている。また、空き店舗旧ばんりの店舗デザインも提案した。

南会津町商店街の空き店舗活用計画

Vacant store use plan of Minamiaizu-machi shopping district

薄井 美里
Usui Misato

大沢 みゆき
Osawa Miyuki

中村 晴香
Nakamura Seika

門司 紗季
Monzi Saki

渡辺 五月
Watanabe Satsuki

スチレンボード・塩ビ板・パルサ材・木材・針金・壁紙材・植栽材・石膏・紙粘土・ケント紙
900(D)×2200(W)×15(H)/まちなか耳より情報「たじまっぷ」 / 90(D)×170(W)×460(H)/空き店舗ばんり活用案模型(1)
90(D)×190(W)×460(H)/空き店舗ばんり活用案模型(2) / 200(H)×600(W)×450(D)/まちなか調査隊オリジナル・カレンダー2011「田島だもの」



Interior Graduation Works 2011

9

SEP.

パターン1「背炙り山～会津藩主松平家墓所」



背炙り山頂から見下ろす市内の景色は大変美しいです。
晴れの日に見る景色は最高です。
また、同じ背炙り山頂から望む市内の夜景も美しく、隠れた名スポットとなっています
会津藩主松平家墓所は、山中にお墓が点在しているのですが、墓石ひとつひとつに迫力があり、大変ごたえがあります。



デザイン案



会津若松市内の視点場に関して独自に発見と研究を行った。市民の方々の協力を得ながら、私が美しいと感じた景観と、市民の方々が普段美しいと感じている景観の情報を収集し、マップに集約した。まだまだ知られていない視点場はあると思われるが、大多数の意見をもとに作成し、その背景も踏まえて、背炙り山を一例に挙げてデザイン提案も行った。今後の会津若松市の視点場の在り方のひとつの参考となることを願い、表現した。

Aizu view point survey～会津若松市の視点場発見と景観特性に関する研究～
aizu view point survey～view point discover and scenery point a lecture of aizuwakamatsu city～

伊藤 優紀
Itoh Yuki

視点場マップ：A3用紙



1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

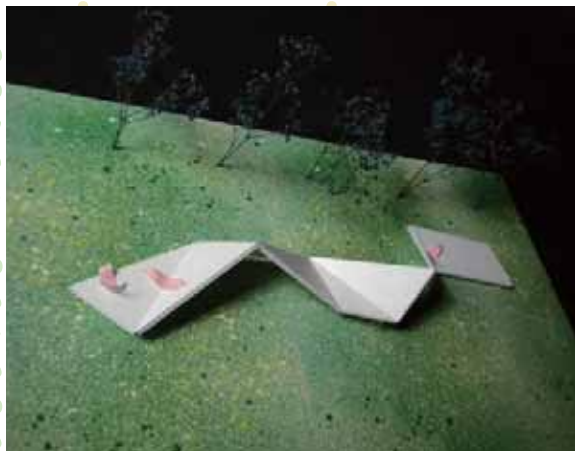
13

14

15



CLEF



3060



公共空間にアート遊具を取り入れることで、人々が心を豊かにし、子供たちが創造力をもって遊べ、多くの人が訪れ、憩える公共空間づくりを目指し制作した。今研究では、習作として「CLEF」、最終提案として「3060」の2作品の制作をした。これらを公共空間に取り入れることで、遊具としての機能だけでなく、人が集い、コミュニケーションの場になるなど人の行動が派生していく効果があると考えデザインした。また、アート遊具本来の特徴である、空間の美観向上が期待できると考えた。

アート遊具の研究と提案

A study and the suggestion of the art playground equipment

小笠原 智美
Ogasawara Tomomi

CLEF 素材:木材、鉄筋、ビス サイズ:3000×19500×2000
3060 素材:木材、金具、ビス サイズ:2700×9000×1450



16

17

18

19 敬老の日

20

21

22

23 秋分の日

24

25

26

27

28

29

30 後期学科別ガイダンス
前期定期試験成績表交付・文化講演会

Interior

Graduation Works 2011

10

OCT.



1

2

3 後期授業開始

4

5

6

7

8

9

10 体育の日

11 授業振替日
(10月10日の授業)

12

13

14

15 紅翔祭



原山織物工場



山田木綿織元



会津における産業近代建築物の事例として、原山織物工場の調査研究を行った。この調査研究では、地域産業と建築物の関わりや近代建築物の歴史の変遷等について研究をし、実測やヒアリングを行うことで詳細な調査を行った。成果物として、敷地や建築物の実測結果を図面にまとめ、それを軸組模型に表した。また原山織物工場リファイン提案として、見学者用トイレの整備および見学のための通路の整備、そして見学ルートの確立をし、模型の中に表現した。

「会津における産業近代建築物の調査研究」-原山織物工場を事例として-

Surveillance study in industrial modern building in Aizu -the Harayama cloth factory as a case

宮川 友紀
Miyagawa Yuki

「原山織物工場軸組模型」 素材 桧細工材2×2、3×3、5×5 ベニヤ板910×1820
サイズ 1368×1428×200



16 紅翔祭

17 後期履修登録

18 後期履修登録

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30 開学記念日

31 後期分授業料口座振替



大町の行事への参加

クリスマスコンテストの開催

今まで研究の中で行ってきた提案や調査を通じ、大町通りの女性まちづくり団体アネッサクラブの「のきさきギャラリー」と、「4つのどうぞ」という活動を有効に行うことのできる店舗とその空間を提案しようと考えた。提案は遠藤時計店を事例として行った。店舗のファサードや、通りから最も目に付きやすい位置を利用し、通りを訪れた人とお店の人がより親密にふれあうことができ、またお店についてよく知ってもらえるような店舗の形を提案した。

NOKISAKI PROJECT 一大町通りの軒先研究とその活性化提案一

「NOKISAKI PROJECT」 The store suggestion that can utilize a NOKISAKI GALLERY effectively

鈴木 優
Suzuki Yu

ベニヤ板、スチレンボード、ユニサンデー、ケント紙、他



1

2

3 文化の日

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

Craft Graduation Works 2011



装身具や漆は本来、魔力を持つ呪術的な存在だった。そして昔の人々は自分の身を守る目的で装身具や漆を扱った。そこから私が思い浮かべたのが、「魔法使い」「魔女」というキーワードだった。そのキーワードを元に毒りんごの指輪、魔法の鏡の形をしたブローチ、魔方陣をイメージしたループタイを制作した。洋服などと同じように普段から気軽に付けてもらい、またそこからパワーをもらえるような装身具を制作した。

漆を纏う dress up with the URUSHI

dress up with the URUSHI

大竹 由布子
Otake Yuuko

漆、木材、錫粉、シルバー、プラスチック、漆粘土



16

17

18

19

20 推薦及び社会人入試

21

22

23 勤労感謝の日

24

25

26

27

28

29

30



日本古来より受け継がれている漆だが、現代の若い世代は漆に対する興味・関心を持つ機械が少なくその存在自体があまり知られていない。そんな若者層をターゲットに、短大で学んできた漆を用いて子供向けのおもちゃ及び大人向けの遊び心のあるインテリア雑貨を制作した。それを見ってもらうことで“漆”という存在を認識してもらう。また自らの手で直接漆に触れてもらうことで漆という素材を身近に感じられるようにし、興味を持ってもらいたい。

触れる漆—“漆”を若い世代に広める—

Touch URUSHI

大森 咲希
Omori Saki

素材 漆、スタイロフォーム、木材、テグス、革紐
技法 蒔絵(銀粉、錫粉)、白檀塗り、螺鈿、卵殻、平文



1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15



私は短大で漆を学んでいるうちに、漆の光沢と昆虫の光沢はよく似ており、共通して独特な雰囲気があるのではないかなと思うようになった。そこで、この共通した2つのモノ(漆と昆虫)を組み合わせることによって、漆の技法を用いて作った昆虫のピンバッジを帽子やバッグに付けることによって、漆の美しさや昆虫の魅力をいつでもどこでも楽しめるのではないかと考える。

美しき昆虫世界

The beautiful insect world

北澤 尚子
Kitazawa Naoko

素材 漆・和紙・麻布・石膏・石粉粘土・シリコンゴム・樹脂・ピン・木 / 技法 螺鈿 卵殻 平文 研ぎ出し蒔絵
マーブル 金箔 / サイズ カブトムシ5×3(cm) クワガタ5×2(cm) その他5×4(cm)



16

17

18

19

20

21

22

23 天皇誕生日
冬季休業(23~1/4)

24

25

26

27

28

29

30

31

Craft Graduation Works 2011

1

JAN.



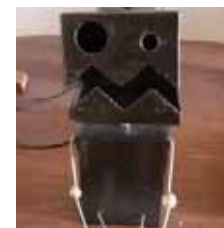
現代の人たちは漆=器物というイメージを持つ人がほとんどで、暮らしの中で使われる漆器も少なくなった今では漆への関心を持つ機会が少ない。そういった人たちにも今まで学んできた漆の美しさや面白さを伝えたいと考えた。漆の持つ質感や光に照らされたときの美しさを最大限活かし、漆の新しい表現方法を見つけたいと思った。そこで、私は透過する光と漆の表現の二つを調和させることによって装飾の今までにない美しさを生み出せるのではと感じた。また漆を用いて新しい表現を創り出すことにより現代の人が漆への新たなイメージを持つきっかけの一つにしたい。また、漆の新しいニーズの可能性を見つけだしていきたいと考えた。

層 *重ねて魅せる癒しの風景*

Layer*The charm repeatedly*

木村 由貴実
Kimura Yukimi

技法 蒔絵・漆絵 / 素材 漆・樹脂 / サイズ 150×150×20 100×250×20



1 元旦

2 振替休日

3

4

5

6

7

8

9 成人の日

10

11

12

13

14

15



現代、あらゆるものがデジタル化し便利な世の中になってきたが、同時にアナログの価値が注目されなくなってきた。私はデジタルの便利さもアナログの美しさもどちらも必要で、共存すべきだと考える。これらの“共存”というコンセプトの元、2年間学んできた漆というアナログの技法・素材を用いて、デジタルとアナログの要素を取り入れた立体造形を制作した。

共存ーデジタルとアナログー

Coexistence - digital and analog -

土屋 満実

Tuchiya Mami

素材 スタイロフォーム、布、漆、塩化ビニール板、カッティングシート / 技法 乾漆技法、螺鈿、蒔絵(銀消粉、錫粉)、金箔

サイズ 97×90×60



16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

Craft Graduation Works 2011

2

FEB.



会津には多くの伝統装飾技法がある。しかし、普段私たちの目に触れることもなく、存在すら知られていないといった技法も多くあるのではないだろうか。私は、この研究を通して伝統装飾技法の新しい表現を見つけ出し現代の実用的な器と組み合わせることによって、忘れかけられている伝統装飾技法をもう一度活用してもらいたいと思い提案をした。また、家族や大切な人たちと漆器を使って楽しい食卓を囲んでいる風景をイメージして制作に取り組んだ。会津には多くの伝統装飾技法がある。しかし、普段私たちの目に触れることもなく、存在すら知られていないといった技法も多くあるのではないだろうか。私は、この研究を通して伝統装飾技法の新しい表現を見つけ出し現代の実用的な器と組み合わせることによって、忘れかけられている伝統装飾技法をもう一度活用してもらいたいと思い提案をした。また、家族や大切な人たちと漆器を使って楽しい食卓を囲んでいる風景をイメージして制作に取り組んだ。

漆の食卓 ～会津伝統技法による提案～

the table of japan ~Proposal by Aizu tradition technique~

三留 朋江
Mitome Tomoe

素材 木地・漆・布 / 技法 朱磨き・鉄錆塗 / サイズ A250×250 B400×250 C190×35



1

2 後期定期試験(2~8)

3

4

5

6

7

8

9

10

11 建国記念の日

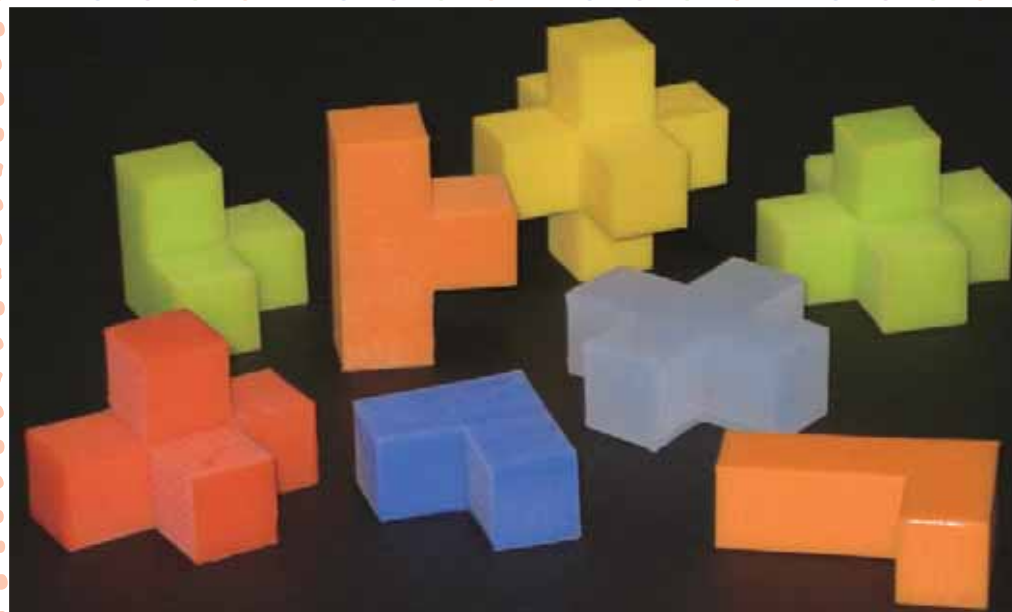
12 一般入試(1期)

13

14

15

Product Graduation Works 2011



玩具は子供にとって身近なものであるが、思いもしない行動や扱い方から怪我や事故に繋がる危険性がある。以上を研究の目的とし、玩具に関する調査や玩具で遊ぶ子供の行動の調査から私は積み木に注目した。積み木は出産祝いや誕生日のプレゼントとして人気が高い。しかし、口に入れる、なめるなどの行動に対して危険と感じる保護者の方が多い。そのため、サイズ、材質、形状などの観点から安全性に配慮し、デザインした積み木の改訂版を考案した。

安全なおもちゃの提案

Proposal of child's safe toy

和田 真典
Wada Masanori

素材 シリコン / サイズ 200mm



16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

Product Graduation Works 2011

3

MAR.



1

2

3

4

5

6

7

8

9

10 一般入試(II期)

11

12

13

14

15

野菜を栽培することは、子供たちの成長を促進させる方法として、食育や知育に取り入れられている。そこで、人格の土台が決まってくる4～6歳児を対象とし、一人ひとりの力を伸ばすことができるよう、家庭で育てる野菜の栽培キットの提案を行うこととする。また、キャラクターやストーリーを栽培キットとWebサイトにふんだんに盛り込むことによって、子どもの野菜栽培へのモチベーションを持続させるように工夫した。



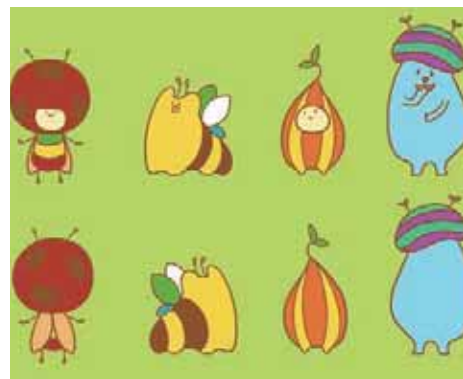
Web



ロゴマーク



たね



キャラクター



スコップ



手袋



調査

16

17

18 海の日

19 学位記授与式

20 春分の日

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

子供の力を育てる野菜の栽培キット及びWebによる情報発信

Vegetable cultivation kit that can foster the ability of children and Information sending by web site

阿部 春世
Abe Haruyo

高桑 和子
Takakuwa Kazuko

素材 ダンボール・新聞紙・米のり・発泡ウレタン・ラッカー・ケミカルウッド・スチレンボード・カシュー・紙・ビニール



SEMINAR INTRODUCTION



横尾ゼミ Interface design

私たち横尾ゼミは、web デザインを中心に講義・実習を行っています。Illustrator や Photoshop は勿論のこと、Dreamweaver を使用して web サイトを制作したり Flash を使って動画等のデジタルコンテンツを制作したりする技術を学ぶことができます。実際に存在するサイトと同じものを制作していくという実習では、制作していく内に技術を培っていくだけでなく、ユーザビリティ（使い勝手）やアクセシビリティ（例：高齢者にも対応した使いやすさなど）を考慮した web デザインの方法を自然と学ぶことができます。デジタルコンテンツについて学ぶゼミというとコンピューターを使う作業ばかりだと思われがちですが、そんなことはありません。動画コンテンツを制作する為に遠方まで取材に行ったり、実際にイベントを体験してからコンテンツを制作したりと、人と関わることが多いゼミです。また、のびのびとした雰囲気自由度が高いゼミなので、web デザインだけでなくデザインという分野を幅広く学ぶことができ、自分が好きなことを突き詰めていくことができるゼミでもあると思います。



牧田ゼミ Interior design

話をしましょう。あれは今から1万4千…いや、2010年のことでしたか。あれは神の国…そう、天界での出来事でした。彼女らの名前はそれぞれ72通りあるから、何といったらいいかしら…。確か、最初に会ったときはサチコ、ミツチャン、ゲラ、モンジ、ジャン。大御神牧田先生のお膝元で5人はとある研究を行っていました。おねえさん担当サチコ、頭脳担当ミツチャン、小顔担当ゲラ、おばあちゃん担当モンジ、ひわいせつ担当ジャン。5人はそれぞれの個性を活かし、各々にしかできない役割を担っていました。牧田先生は大変優しいお方で、5人に多くを教え、時に甘味を与え、常に適切な指導で5人を導き、その無償の愛は一所に限るものではありません。しかし、決して神の加護に甘えてばかりではなりません。その怒りを買ったとき、人は足元の大地を失うでしょう。5人は感謝の心を決して忘れることなく、神の優しさに自らを悔い改め、時に車に酔いながら研究を続けました。やるべきことを終えた5人は教理と感謝と自戒を胸に次の世界へと旅立ちました。この後の出来事は時が来たらお話ししましょう。



柴崎ゼミ Interior design

インテリア・柴崎ゼミは柴崎先生のご指導の下、インテリア分野を学んでいます。内容として、建築設計、まちづくり、建築アート、空間・環境デザインなど様々な分野の研究を行っています。また柴崎ゼミは個人研究が主となっているので、一人一人の計画性・責任感・行動力等が養われます。先生からは様々な角度から鋭いアドバイスを頂き、日々スキルアップしていきます。忙しい毎日ですが、その充実した短大生活を送ることができます。柴崎ゼミに入ること、1. 打たれ強くなります。2. 知識や技術を身につけることができます。3. 多くの人と交流を持つことができます。活動を通して「できること」が増えるゼミです。またゼミの活動として、柴崎ゼミはゼミ旅行によく行きます。私たちは新潟や北海道にアート作品や建築等を見学に行きました。普段なかなか行けないような場所に行き、実際に見たり感じたりすることで学校にいるだけではわからないことも学ぶことができます。柴崎ゼミは、大変なことも多いゼミですが、楽しいこともたくさんあり、またその分終わった後に大きな達成感が得られるゼミです。



高橋ゼミ Graphic design

グラフィックゼミは個人制作が多いので基本的にみんな個人主義です。しかし、作ったものに関してはみんなからアドバイスや感想をもらえるので、課題が終わるごとに自分がステップアップしているような実感があります。高め合える仲間でありライバルでもある、そんなメンバーです。また、プロのデザイナーの本田先生にご指導いただけるのでデザインの幅がとても広がるのもグラフィックゼミならではの魅力だと思います。とまあ、これまでの内容を聞くとグラフィックゼミは1人で黙々と作業をしていると思われがちですが実際はそんなことはありません。アイデアが固まるまではパソコンの前に行けないのでみんなで喋ったりお茶をしながらワイワイ楽しくやっております。たまにジャジャーン！と高橋先生がサプライズでお土産やハロウィンのお菓子をくれたりします。心なしかそんな日は高橋先生がウキウキしているので、全然サプライズにはなっていません。バレバレです。笑まあ、そんなマメな高橋先生を私達はとても信頼し、何かあるとすぐに頼ってしまいます。みんな個性的だけど、すごく楽しいゼミです。



井波ゼミ Craft design

2年前のあの頃・・・私たちは漆というものがどのようなものなのか、はっきりとわかっていませんでした。それから井波先生のご指導の下、授業や実習を通して漆と触れ合っていくうちに、漆の素晴らしさを実感することができました。卒業を間近にした今、さまざまな思い出が脳みその中を駆け巡ります。漆のお椀で食べた味噌汁の味・・・。県展の作品作りで流した汗と涙・・・。かぶれてボロボロになった手のひら・・・。挫折しそうになった精密乾漆の布着せ・・・。逃げ出したくなった卒業研究・・・。しかし、私たちは漆のすべてと向き合い、そして自分自身と向き合いました。そしてこの2年間で技術的にも精神的にも成長することができました。それは、井波先生や吾子先生、後庵野先生のご協力があったからこそです。また、家族同然のクラフトゼミ6人が励ましあい、切磋琢磨したから乗り切れたと感じています!!! しっかりもて爺専のお母さんのようなともちゃん。寛大で落ち着いたお父さんのようなまみ。クールで物事を客観的に見られる長男のようななおちゃん。いつも笑顔で明るく、なんでもこなす長女のいきも。楽しいことが好きで、可愛いものを作ることが得意な次女のゆうこ。いつも元気でムードメーカー、愛されキャラで末っ子のようなゆきみ。この6人で和気藹々と作業をした思い出は一生忘れません。漆を通して学んだことをこれからの人生に生かしていきたいと思えます。



時野谷ゼミ Product design

私たち時野谷ゼミでは身の周りにある工業製品のデザインを行っています。市場調査から問題提起をし、それらの問題点を改善するために知恵をしぼってアイデアを展開させます。パソコンを使ってハイテク人間になったり、発泡ウレタン削りなどの手作業でアナログ人間になったりと、さまざまな分野に踏み込む機会が多いです。「腹が減ってはゼミが進まぬ」というキャッチフレーズを掲げ、作業や食欲と戦いながらわいわいゼミ活動をしています。そして、ゼミの最後には自分の考えや製作した作品の良さを伝えるためのプレゼンテーションが待っています。ここでは、時野谷先生が凄まじい眼力を使い、厳しいお言葉で指摘してくるんですよ（体験者が語る）。失敗してやり直しになったりすることもあります。その分、コンセプトやイメージ通りに模型が出来たときの達成感と充実感は、次へ進むための土台へと進化していきます。さて、ゼミでは苦しいことがあれば楽しいことも待っています。春には新入生歓迎会として2年生の美味しい手料理が待っていたり、秋には芋煮会、冬はクリスマスパーティーと、ウキウキする行事も盛りだくさんです。ポットもレンジも冷蔵庫もあり良い立地条件のゼミ室は、みんなのオアシスになるでしょう。さあ、みなさん！紅茶片手にお菓子をつまみながら、一緒に製品の素晴らしさについて語りましょう！！

SUBJECT INTRODUCTION

産業情報学科デザイン情報コース
Department of management
and design, Design course

インターフェイス
Interface design

インテリア
Interior design

グラフィック
Graphic design

クラフト
Craft design

プロダクト
Product design

デザインの視点から情報化社会と向き合う

情報技術の急速な進展、社会の複雑化・高度化、少子高齢化、地球環境の変化などに伴い、産業界では幅広い視野に基づいた発想や判断がより重要度を増しており、市場環境の変化に対応できる柔軟性と創造性を持ち、高度な専門性を備えた人材が強く求められています。こうした状況を踏まえて、産業情報学科では経営情報コースとデザイン情報コースの2コースを配置しそれぞれの視点から今日的課題を見つめ、情報化時代に柔軟に適應できる統合能力を有する人材育成を教育目標にしています。

デザイン活動には産業・社会・経営等に関する幅広い視点から問題の把握・分析、創造性豊かな感性と展開力、時代を読む解決能力などが合わせて求められています。デザイン情報コースでは、デザイン及び情報の基礎的能力を育成する専門教育科目を学ぶとともに、より専門性を深めるために、デザインの領域をインターフェース、インテリア、グラフィック、クラフト、プロダクトの5分野に分け、その領域に関連する専門教育科目を配置し、情報化時代におけるデザイン活動と歴史・文化・環境などに配慮した、モノ・事のデザインができるデザイナーの養成を目指します。

Web デザインを中心に講義・実習を進めていきます。Web サイトで見られる画像や音声、そして動画などを扱うデジタルコンテンツ制作のための基本的な技術を学び、デザインに応用していくことを目指します。また、Web サイトで必要とされるユーザビリティ（使い勝手）、さらにはアクセシビリティ（例：高齢者にも対応した使いやすさなど）を考慮に入れたWeb サイト制作など使う人の視点に立ったデザイン方法を学びます。

戸建て住宅や集合住宅の室内空間、喫茶店などの商業空間、公共建築物の室内空間など、建築物を対象とした空間デザインの考え方・手法を学ぶとともに、人間にどうの居住空間のあり方や居住環境をいかに整えるかを考えます。ゼミでは、家具デザインからインテリア・建築デザイン、都市・地域デザインなどを範疇として、問題点の発見から解決までを自ら考えます。これらを通して、居住環境を創造できる人材を目指しています。

広告・出版・印刷に関連する業界で将来活躍できる人材を目標にしています。実習やゼミの授業では、ポスター、カレンダー、ポストカード、パッケージ、新聞広告などといったグラフィック作品や、絵本やタウン誌の編集制作などを実際につくりながら学んでいます。グラフィックデザインに関する専門知識を学ぶだけでなく、常に見る人の気持ちになって考え、そしてつくるビジュアルデザインの基本を大切にしています。

全国でも10校余りしかない大学機関での漆芸専門教育を通し、古来日本の文化を培ってきた漆という自然素材とモノづくりについて考えます。漆芸の基本技法を学びながら、轆轤や板物などの木工や椀、蒔絵、乾漆技法、造形物などの作品制作を行います。手仕事の重要性や自らの手で創り出す意義について深く考察し、柔軟な発想力を育て、デザイナーとして、新たな可能性を提案・追求できる人材育成を目標とします。

テレビ、電気炊飯器、掃除機、冷蔵庫、電話機、洗濯機、ステレオ、CDプレーヤー、パソコン、プリンター、コピー機、椅子、テーブル、自転車、自動車などの生活に密着した工業製品のデザインについて学び、関連分野で活躍できる人材の育成を目指します。そのためにデザインに関する基本技術の習得と社会を広く見つめ、どこに改善すべき点があるかといった問題意識を有し、その解決策を模索することのできる能力の習得を目指します。

公立大学法人会津大学

会津大学短期大学部

福島県会津若松市一箕町大字八幡字門田1-1 〒965-8570

phone 0242-37-2300 (代表)

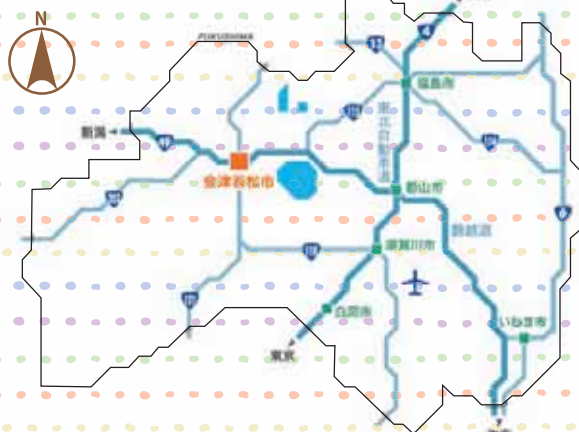
phone 0242-37-2301 (広報・入試等担当窓口)

fax 0242-37-2412

URL <http://www.jc.u-aizu.ac.jp>

email info@jc.u-aizu.ac.jp

ACCESS MAP



自動車を利用の場合

秋田方面から【秋田南 IC から 396.5km】東北道、磐越道経由

山形方面から【山形北 IC から 182.8km】山形道、磐越道経由

仙台方面から【宮城 IC から 158.3km】東北道、磐越道経由

新潟方面から【新潟中央 IC から 95.2km】磐越道

石川方面から【金沢東 IC から 243.2km】北陸道、磐越道経由

東京方面から【浦和 IC から 261.5km】東北道、磐越道経由

長野から【長野 IC から 450.3km】上信越道、関越道、磐越道経由

群馬から【前橋 IC から 311.9km】関越道、北陸道、磐越道経由

名古屋から【名古屋 IC から 652.4km】名神高速、北陸道、磐越道経由

大阪から【東大阪 IC から 699.2km】近畿道、名神高速、北陸道、磐越道経由

京都から【京都東 IC から 645.3km】名神高速、北陸道、磐越道経由

列車を利用の場合

秋田から【約 4 時間 10 分】秋田新幹線、磐越西線経由

仙台から【約 2 時間】東北新幹線、磐越西線経由

富山から【約 5 時間 20 分】北陸、信越本線、磐越西線経由

長野から【約 3 時間 10 分】上越、長野新幹線、東北新幹線、磐越西線経由

大阪から【約 5 時間】東海道新幹線、東北新幹線、磐越西線経由

東武浅草から【約 4 時間 50 分】東部鉄道、野岩鉄道、会津鉄道経由

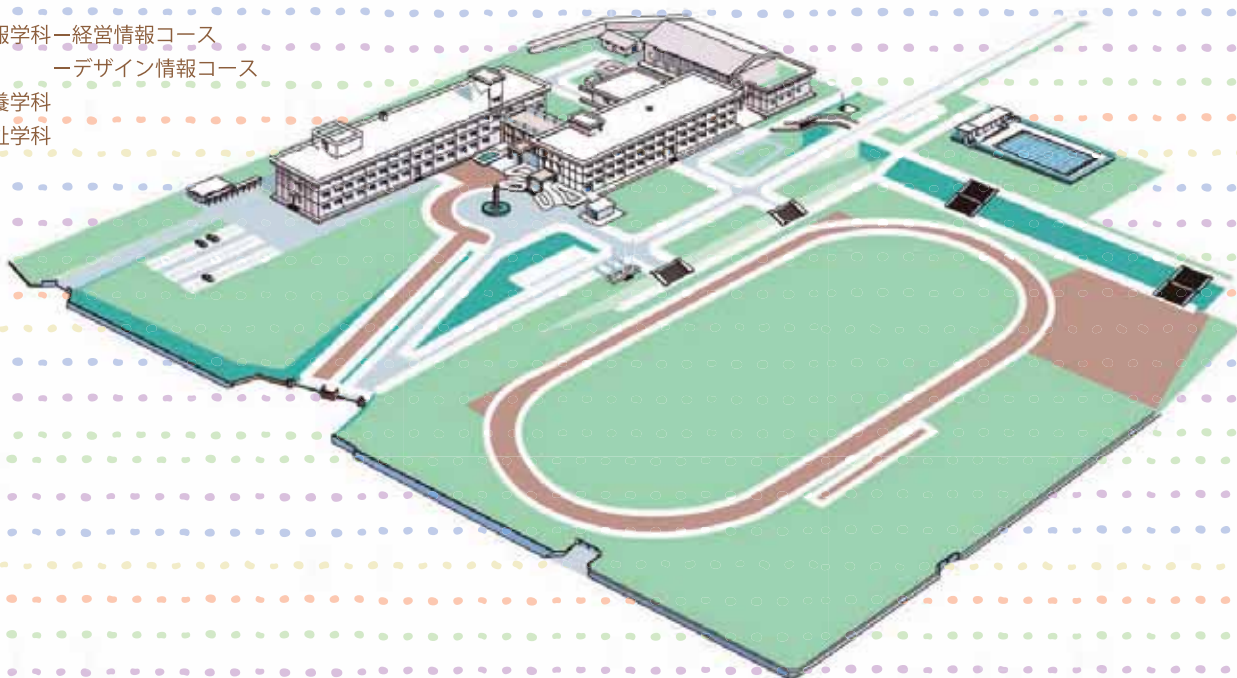
キャンパス

学科

産業情報学科—経営情報コース
—デザイン情報コース

食物栄養学科

社会福祉学科





会津大学短期大学部産業情報学科デザイン情報コース
卒業作品集 2011年版

編集 吉田 友香

発行

会津大学短期大学部産業情報学科デザイン情報コース 2011年3月

Phone 0242-37-2300 (代表)

<http://www.jc.u-aizu.ac.jp>

